

バルセロナ大学リカルド・セルベラ教授と寶金病院長が懇談

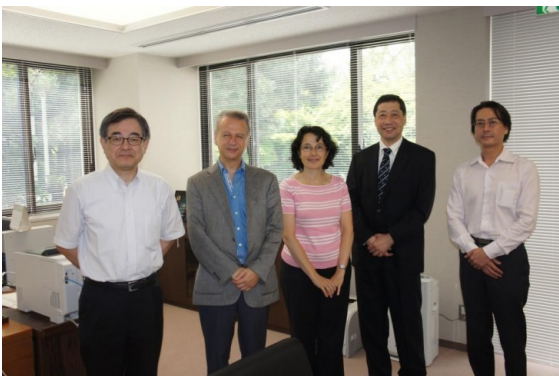
8月3日（月）、バルセロナ大学のリカルド・セルベラ教授が北海道大学病院を訪問されました。リカルド教授は今回、医学研究科の笠原研究科長及び寶金病院長を訪問するために来学し、当院においては、渥美達也教授（内科II）、ピーター・シェーン准教授（国際医療部）、マリア・オルガ・アメングアル助教（内科II）を交えて計5名で懇談しました。

懇談では、これまでの海外大学病院との交流実績について情報交換を行い、寶金病院長から病院における海外との人的交流が持つ意義について話がありました。懇談は終始和やかな雰囲気が進み、最後は寶金病院長がバルセロナ大学病院との部局間協定の締結に意欲を示し、これに対しリカルド教授も前向きな姿勢を示されました。

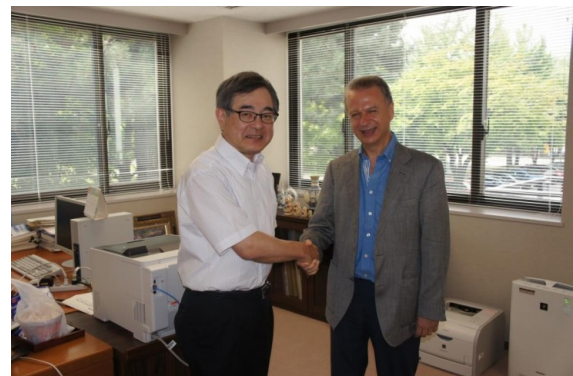


懇談の様子

これまで当院は欧州との交流実績が乏しかったものの、今後の欧州とのネットワーク構築・連携強化への足がかりとなる有意義な懇談となりました。



懇談後に5名で



握手する寶金病院長とリカルド教授